

2024年度自己点検・評価結果にもとづく 学校関係者評価報告書

2025年2月

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

学校関係者評価委員会

学校が実施した自己点検・評価結果の各項目を根拠資料とともに説明し、評価項目ごとの自己点検・評価結果の妥当性について検証すると共に、各委員から意見を聴取した。なお、自己点検・評価の評価項目と様式は、静岡県専修学校各種学校教育振興会自己点検・評価委員会発行『自己点検・評価ガイドライン』に掲載されているものを一部改編して使用した。

【学校関係者評価委員会 構成員】

- ① 在学生の父母等保証人・・・江原誠子 氏、市川寛和 氏
- ② 関連実習施設の関係者・・・社会福祉法人小羊学園 支援センターわかぎ 支援課長 紅谷 純 氏
- ③ 高等学校関係者・・・・・・・・聖隷クリストファー高校校長 上村敏正 氏
- ④ 大学関係者・・・・・・・・聖隷クリストファー大学社会福祉学部長 佐藤順子 氏

【実施日（意見聴取日）】

2025年2月26日

【評価に用いた資料】

- ・ 専門学校の自己評価および学校関係者評価について
- ・ 2024年度 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 自己点検・評価報告書
- ・ 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 教育情報の公表
- ・ 2024年度 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 事業計画
- ・ 2024年度 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 履修要項
- ・ 2024年度 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 学生生活の手引き(CAMPUS LIFE)
- ・ 聖隷クリストファー大学・聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 学報2024年8月号
- ・ 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 2025年度入学案内/募集要項

1. 教育理念・目標・人材養成

評価項目	適切………4 ほぼ適切……3 やや不適切…2 不適切………1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① 学校の理念・目的・人材養成像は定められているか	④ 3 2 1	<p>〔現状の問題点〕</p> <p>④：教育理念並びに教育目標について教職員に周知されていない。</p> <p>〔改善のための方策〕</p> <p>④：年度の事業計画に教育理念と教育目標を明示し、合同教員会にて周知する。</p>	<p>自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。</p> <p>・教育理念は周知できているのではないかと感じている。</p> <p>・同じ方向を向いて教育を行う必要があるので、教員への周知は必須である。</p>
② 教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	④ 3 2 1		
③ 教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	④ 3 2 1		
④ 教育理念並びに教育目標を教職員・学生に周知しているか	4 ③ 2 1		

2. 教育活動

評価項目	適切………4 ほぼ適切………3 やや不適切………2 不適切………1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① カリキュラムは教育目標が反映されているか	④ 3 2 1	〔現状の問題点〕 問題点は特になし。	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
② 定期的なカリキュラムの見直しが行われているか	④ 3 2 1		
③ テキストや教材は適切なものを選定しているか	④ 3 2 1		
④ シラバスが作成され学生に配布されているか	④ 3 2 1		
⑤ 授業の点検・評価が適切に実施されているか	④ 3 2 1		
⑥ 資格試験の合格率は	④ 3 2 1		
⑦ 資格試験不合格者の対策は	④ 3 2 1		
⑧ 評価は適切な方法で行われているか	④ 3 2 1		
⑨ 目標に到達しない学生に対し適切なフォローが行われているか	④ 3 2 1		
⑩ 進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	④ 3 2 1		

3. 学生の受け入れ

評価項目	適切……4 ほぼ適切……3 やや不適切……2 不適切……1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① 学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か	4 ③ 2 1	〔現状の問題点〕 2020年度以降の入学者は19名、28名、22名、23名と推移しており、いずれも入学定員40名を下回っており、2024年度は12名と更に減少した。なお、入学者のうち外国人留学生は4名（前年-2名）である。	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
② 入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4 ③ 2 1	①②④：オープンキャンパス等募集行事の開催、ガイダンス（高校内、会場）への参加、ダイレクトメールの発送など概ね当初予定通り実施ができたものの、接触者数（実人数）は以前と比較して大きく増えていない。接触者を増やし、出願・入学まで繋がる比率を高めることが課題である。	・アンケートから分析され、中学生にアプローチをされるなど十分に組み込まれていると思う。
③ 募集要項の内容は適切か	④ 3 2 1	⑥：2020年度入試から5年間の入試結果は別表の通り。平均の入学定員充足率は52.0%である。	・外部環境が変化しており、子供がなりたいた職業がYouTuberになるなど、人と直接かかわり、汗をかいてお金を得る、という意識が弱くなっていると感じる。しかし、この仕事は奥深く、やりがいも面白さもある。難しいが今後社会が立ち行くためにも福祉に関わる人を増やさねばならない。
④ 学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	4 ③ 2 1	〔改善のための方策〕 新入生アンケートによると、約半数は中学生までに介護、福祉に関わる仕事に就きたいと考えて進路を検討している。中学生、高校生を対象とした「介護・福祉の体験教室」を昨年	

評価項目	適切………4 ほぼ適切………3 やや不適切………2 不適切………1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
⑤ 入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	④ 3 2 1	<p>に引き続き10月に開催、中高生43名が参加した。また8月と12月には福祉施設でのボランティアを募集し、3会場で高校生計16名が参加した。このような介護、福祉に関わる仕事について知ってもらう機会を継続実施するとともに、参加した高校生へのフォローを行っていく。</p> <p>学校の特長を今まで以上に高校生や保護者に届けるために、ホームページ、SNS、ダイレクトメールによる情報発信のほか、入学実績がある高校を中心とした訪問に注力していく。また、高校卒業後に直接福祉施設に就職するケースが見受けられるので、2年間専門学校で学ぶことのメリットを示す。</p> <p>外国人留学生獲得のため、県内の主要な日本語学校への訪問回数を増やす。近隣日本語学校や社会福祉法人との連携による留学生の母国からのリクルートについても取り組んでいく。</p>	
⑥ 志願者状況、定員充足率はどうか	4 ③ 2 1		
⑦ 中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	④ 3 2 1		

⑥別表

入学年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
志願者数（人）	20	29	22	23	12
合格者数（人）	20	29	22	23	12
入学者数（人）	19	28	22	23	12
入学定員充足率（%）	47.5	70.0	55.0	57.5	30.0

4. 教員組織

評価項目	適切………4 ほぼ適切……3 やや不適切…2 不適切………1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① 専任教員は設置基準を満たしているか	④ 3 2 1	<p>【現状の問題点】</p> <p>②：専任教員1人あたりの担当科目時間数について、教員間での時間数の差（年間60時間）が認められたため、2024年度は是正を行った。時間数の差は縮まったものの、科目による負担への配慮に関して未着手である。</p> <p>【改善のための方策】</p> <p>②：担当科目時間数について教員間での一番多い教員と、一番少ない教員では年間60時間の差が認められた点は平均化ができた。一方で、医療的ケアの演習など、コマ数以上に負担が過重となっている科目についても再検討していく。</p>	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
② 専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	4 ③ 2 1		
③ 教職員の業務分掌は明確になっているか	④ 3 2 1		
④ 教職員の能力、業務内容の評価を定期的に実施しているか	④ 3 2 1		
⑤ 教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	④ 3 2 1		
⑥ 職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	④ 3 2 1		

5. 学生支援

評価項目	適切………4 ほぼ適切………3 やや不適切………2 不適切………1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① 奨学金等、経済的支援は整備されているか	④ 3 2 1	<p>〔現状の問題点〕 問題点は特になし。</p>	<p>自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。</p> <p>・実習のリアリティショックや、日本人と外国人留学生とのかかわり方について、課題があると聞いている。</p> <p>（学校より）対策として動画で事前学習を行うこととした。また外国人留学生はやはり日本独特の空気を読む、ということをしていないので、意識のズレができることもあるようだ。一方留学生に教えるということを通して成長している学生もいる。また、留学生自身も母国語で話せずホームシックになっているので、アルバイト先の施設などにも協力いただきながらフォローしている。</p> <p>・国際交流協会で同国人と出会えることもあるので、活用してはどうか。協会も外国人の留学生や介護従事者を気に掛けているようだ。</p> <p>・リアリティショックについては、家族構成が大きな要因ではないか。我が家の場合は祖母のおむつ交換などの現場を見ていたので、抵抗がなかったようだ。</p>
② 学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか	④ 3 2 1		
③ 各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	④ 3 2 1		
④ 防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	④ 3 2 1		
⑤ 進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	④ 3 2 1		
⑥ 新たな求人開拓の努力をしているか	④ 3 2 1		

6. 施設・設備

評価項目	適切………4 ほぼ適切………3 やや不適切………2 不適切………1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① 講義室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	④ 3 2 1	<p>〔現状の問題点〕 問題点は特になし。</p>	<p>自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。</p>
② 実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	④ 3 2 1		
③ 実習設備は整備されているか	④ 3 2 1		
④ 講義室・実習室の管理は適切に行われているか	④ 3 2 1		
⑤ 学生が自学自習できる教室を有しているか	④ 3 2 1		
⑥ 図書室は適切に整備されているか	④ 3 2 1		
⑦ 保健室は適切に整備されているか	④ 3 2 1		
⑧ 教育用機器備品は整備されており活用されているか	④ 3 2 1		
⑨ 教員室の管理は適切に行われているか	④ 3 2 1		
⑩ 事務室の管理は適切に行われているか	④ 3 2 1		

7. 管理・運営

評価項目	適切………4 ほぼ適切………3 やや不適切………2 不適切………1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① 理事会・評議員会は適時適切に開催され、機能しているか	④ 3 2 1	<p>〔現状の問題点〕 専門学校としては、入学者の未充足の影響により事業活動収支差額がマイナスとなっている。</p> <p>〔改善のための方策〕 学生募集力を強化し外国人留学生の受入れスキームを推進し一人でも多くの入学者を確保する。具体的な施策は、「3. 学生の受け入れ」に記載のとおり。2025年度入学者は30名以上を確保できる見通しである。</p>	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
② 理事会、評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか	④ 3 2 1		
③ 就業規則などの諸規程は適切に整備されているか	④ 3 2 1		
④ 就業規則などの諸規程・学則等が定期的に見直されているか	④ 3 2 1		
⑤ 組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	④ 3 2 1		
⑥ 消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	④ 3 2 1		
⑦ 個人情報保護法を遵守しているか	④ 3 2 1		
⑧ ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	④ 3 2 1		
⑨ 財務分析比率は適切な数字になっているか	4 ③ 2 1		
⑩ 学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されているか	④ 3 2 1		